

会員会議要約

- 1、日 時：平成 20 年 9 月 6 日（土） 13：30～15：00
- 2、場 所：福祉会館 2階
- 3、参加者： 30 名（会員 25 、事務局 5）

4、会議内容

- (1) 代表挨拶 宇部市地球温暖化対策ネットワーク代表 中西 弘
自然エネルギー（太陽、風、バイオマス等）の中で太陽からのエネルギーは世界の使用エネルギーの 9,700 倍、風力では 1.5 倍と理論的に算定されている。このような大きなエネルギーを持つ太陽エネルギーを利用した発電等に、これからの期待がかかる。



- (2) 宇部市地球温暖化対策ネットワークの紹介 事務局長 仰木 則康
宇部市地球温暖化対策ネットワークは 2002 年 10 月に宇部市環境共生課内に設立され、2005 年 7 月に組織の見直しと幹事会機能の充実を行い現在に至る。
会員は産・官・学・民の 170（団体 126、個人 34 構成員数 約 20,000 人）で構成され地球温暖化防止活動を推進している。
ソーラー・マイレージクラブ事業については 2008 年度に環境省から 5 団体採択された。うべソーラー・マイレージクラブは事業目的に基づき二酸化炭素削減目標値を 22,529Kg と設定し会員一丸となって達成を目指している。
- (3) うべソーラー・マイレージクラブの紹介 省エネ相談員 清水 幹生
日本は世界の温室効果ガス排出量の 4.7%を排出している。大気中の二酸化炭素濃度は産業革命（1800 年頃）以前は 280ppm であったが現在では 390ppm に上がっている。省エネや植樹等により二酸化炭素量を削減し地球温暖化を防がないと人類の未来は危ぶまれる。
清水相談員から数々の省エネ方法の紹介があり、その関連の質疑が活発に行われた。

3、質疑応答

植物と二酸化炭素、待機電力の削減、深夜電力の利用、太陽光発電設備のメンテナンス等についての質疑があった。一部については当クラブ相談員独自での回答が困難なため関連機関に問い合わせし、結果をマイレージ通信にて会員に報告することとした。

[質疑の1例] エコタップのスイッチ部分のランプ明かりは省エネに逆行ではないか。消費電気量は？

(回答) メーカーのサンワサプライ(株)に問い合わせた結果、ランプは 0.05~0.08W とのこと。24時間点灯して1月で60WH弱です。ランプが無い場合には、スイッチを切り忘れても消灯確認できないため待機電力を消費することになります。

(例：CD ラジカセの待機電力 10W)

5、閉会の挨拶 事務局長 仰木 則康

我々に出来ることから省エネを推進し、住みやすい環境を未来に残そうではないか。

参加者 中西代表 他 30名

